

# 年頭によせて

安平町長

及川 秀一郎



町民の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より町政全般にわたり深いご理解とあたたかいご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

昨年は、日本では20年ぶりとなる大阪万博が4月から開催され、10月には憲政史上初の女性総理大臣が誕生するなど明るいニュースが続きましたが、一方で全国的にクマの出没が相次ぎ、人に対する被害が発生するニュースや物価の上昇が続く、特に米価の高止まりによって、日常の消費生活に大きな影響が出るなど、身近な問題が話題となった年でもありました。

さらに、12月8日夜には青森県東方沖で発生したマグニチュード7.5の地震が発生し、初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されるなど、当町も北海道胆振東部地震から7年が経過しましたが、今一度、日ごろから防災に取り組むことの大切さを忘れずに対策を続けていくことの重要性を再確認したところです。

当町の出来事に目を向けますと、4月には胆振東部地震復興計画の最後の大規模事業である早来町民センターの大規模改修工事が完了し、合宿所機能を持った新しい施設として従来のコミュニティスペースの機能も残しながら宿泊に対応した機能が追加され、災害時は避難所としても安心・安全に使用できる施設へと生まれ変わりました。せいこドームの利用とあわせ、町外からのスポーツ合宿や文化団体の活用など、より多くの方に活用されております。これからもスポーツ・文化を通じた人の交流や来町者の増加により、町中が賑わうことを願っております。

オープン当初から多くの方にお越しいただいている「道の駅あびらD51ステーション」は、来場者400万人を突破いたしました。平成31年4月のオープンから引き続き多くの方に訪れていただけるのは、施設の運営に尽力されている関係者の皆様のご努力によるものであり、厚く御礼申し上げます。昨年は隣接地に民間企業による新たなダイナックス・アールム・ワイナリーも完成し、新たな特産品も加わる予定です。今後も観光情報の拠点として町内外の多くの方が訪れていただけることを期待しております。

軽種馬産業においては、天皇賞や安田記念、菊花賞など国内主要レースで活躍したほか、海外のドバイで開催されたドバイシーマクラシック、アメリカで開催された世界最高峰のダートレースであるブリーダーズカップ・クラシックで日本馬初制覇の快挙を成し遂げるなど、安平町産駒が世界中に歓喜をもたらしました。今年も多くの産駒が国内外のターフを疾走し、大いに活躍することが望まれます。

今年には安平町が誕生して20年目となる節目の年となります。平成18年3月の旧早来町・旧追分町の合併から平成30年胆振東部地震を乗り越えた今の安平町があるのは、礎を築いていただいた先人の皆様はもとより、地域においてご尽力いただいている皆様のご努力の賜物であり、心より深く感謝を申し上げます。

今後とも町民の皆様と手を携え「チームあびら」の合言葉のもと「育てたい、暮らしたい、帰りたい、みんなであらへ駆けろまち」の実現のため、より一層お力を貸していただきますよう心からお願ひ申し上げます。

結びになりますが、心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めていくため、町民の皆様と協働しながら邁進する所存でありますので、引き続きあたたかいご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 頌春



安平町

町長 及川 秀一郎  
副町長 田中 一省

安平町議会

議長 長 多田 政拓  
副議長 長 梅森 敬仁  
議員 工藤 秀一

〃 米川 恵美子  
〃 小笠原 直治  
〃 鳥越 真由美  
〃 三浦 恵美子  
〃 箱崎 英輔  
〃 内藤 圭子  
〃 高山 正人